

え ど じ だ い う じ が わ

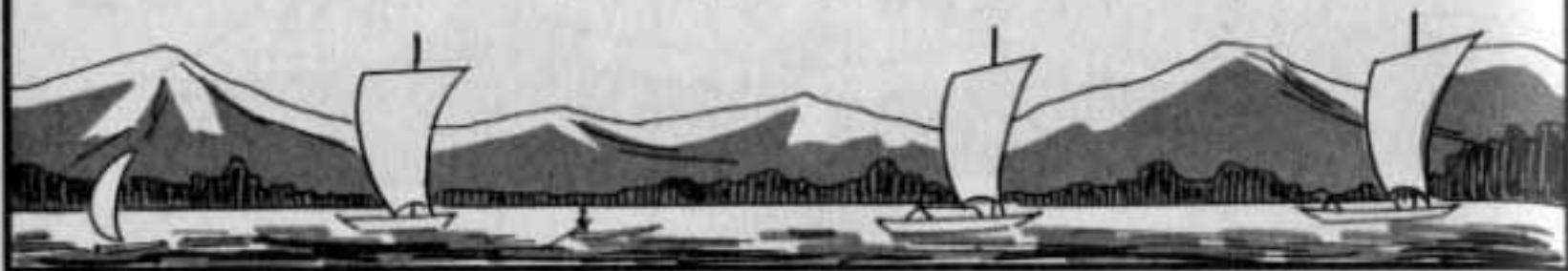
# 江戸時代の宇治川

よどがわおうらい ひろ こうりゆう  
—淀川往来・広がる交流—

それまで  
近畿地方は  
あらゆる面で  
「中央」の位置  
を占めていま  
したから、  
江戸時代でも  
さびれてしま  
うなどという  
ことはなく、  
とくに経済の  
面ではその地  
わが国の  
中心として  
流通面で淀川  
の大動脈とし  
ての役割は  
以前にも増し  
て重要視され  
るようになって  
きました。



水上の  
交通手段は  
もちろん船。  
川舟といえば、  
今その  
ほとんどが  
観光を目的と  
するものですが  
かつては  
私たちの生活に  
たいへん  
密着したもので  
あったことを  
忘れては  
ならないで  
しょう。



江戸時代  
川舟では  
どんなものを  
どんな  
風にして  
運んで  
いたの



それについては  
森の石松に  
登場して  
もらおう



琵琶湖が水源のため  
宇治川、淀川の水は  
豊富で川舟にとって  
条件は良かったんだ

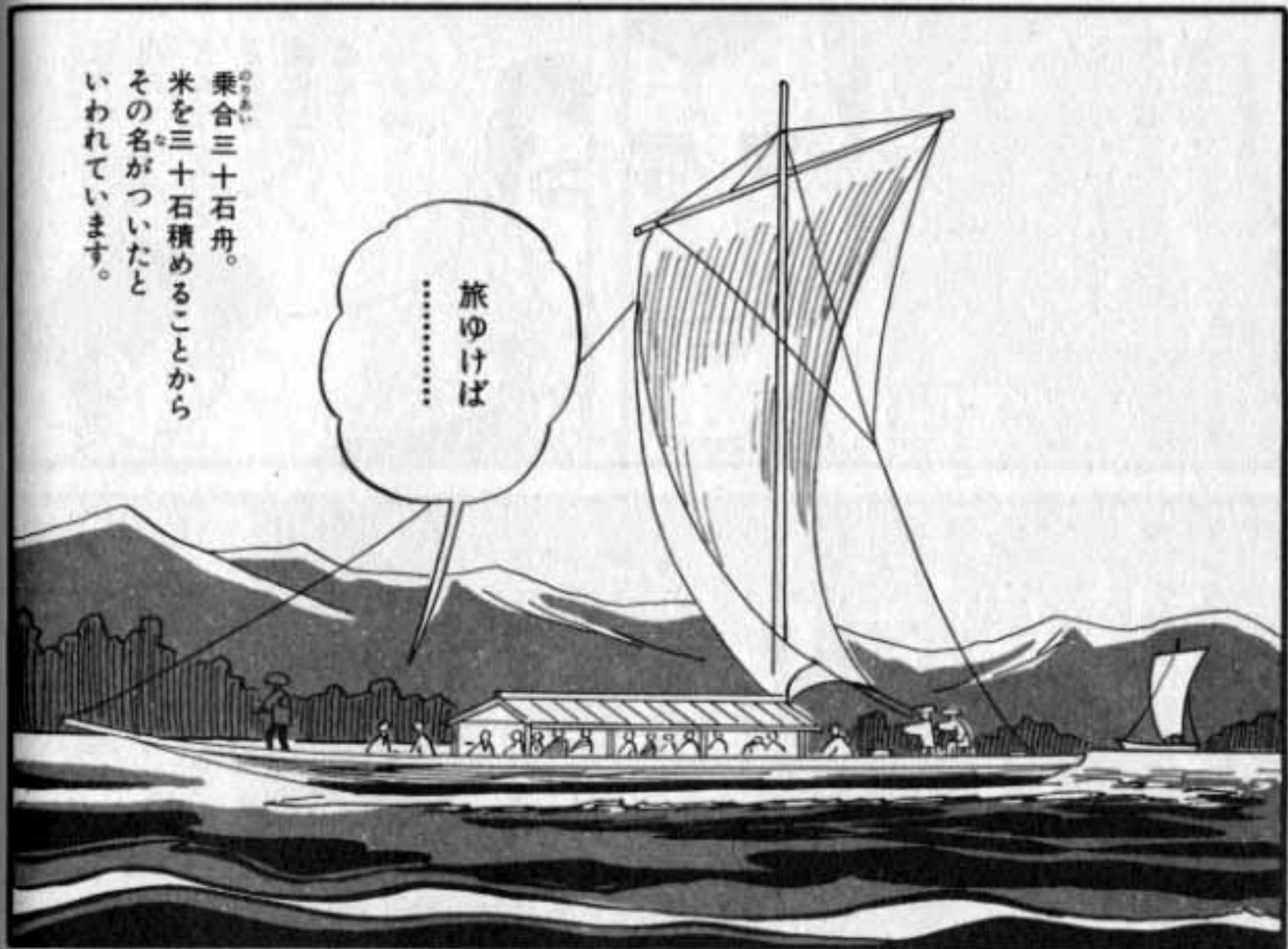


ふうん他の  
川には  
上流に  
琵琶湖の  
ような  
大きな湖を  
もっているのは  
ないね





ところで江戸時代  
森の石松がもしも  
三十石舟に乗って  
いたらこんな感じ  
になったのでは  
ないでしょうか。



旅ゆけば  
.....

乗合三十石舟。  
米を三十石積めることから  
その名がついたと  
いわれています。



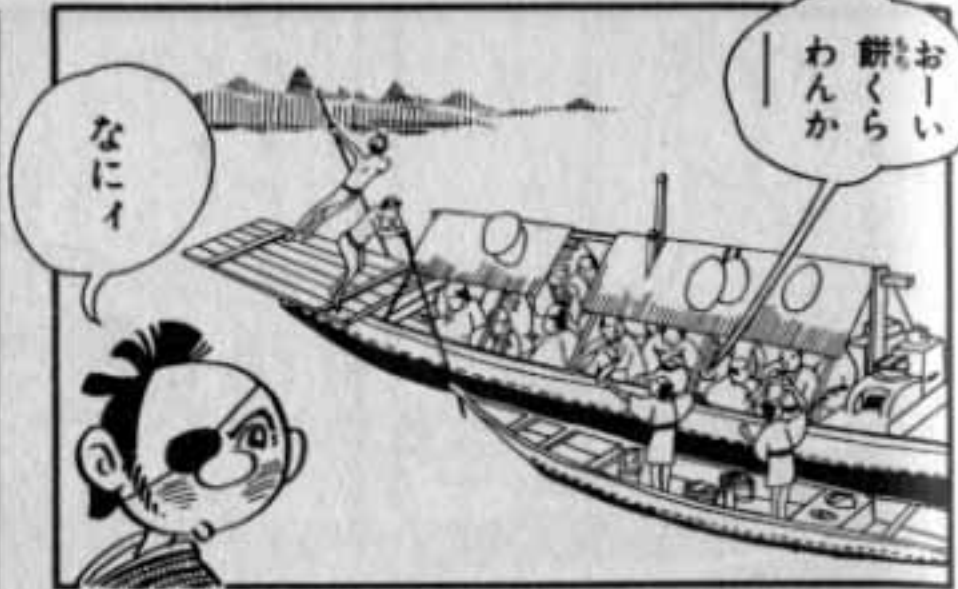
くらわんか

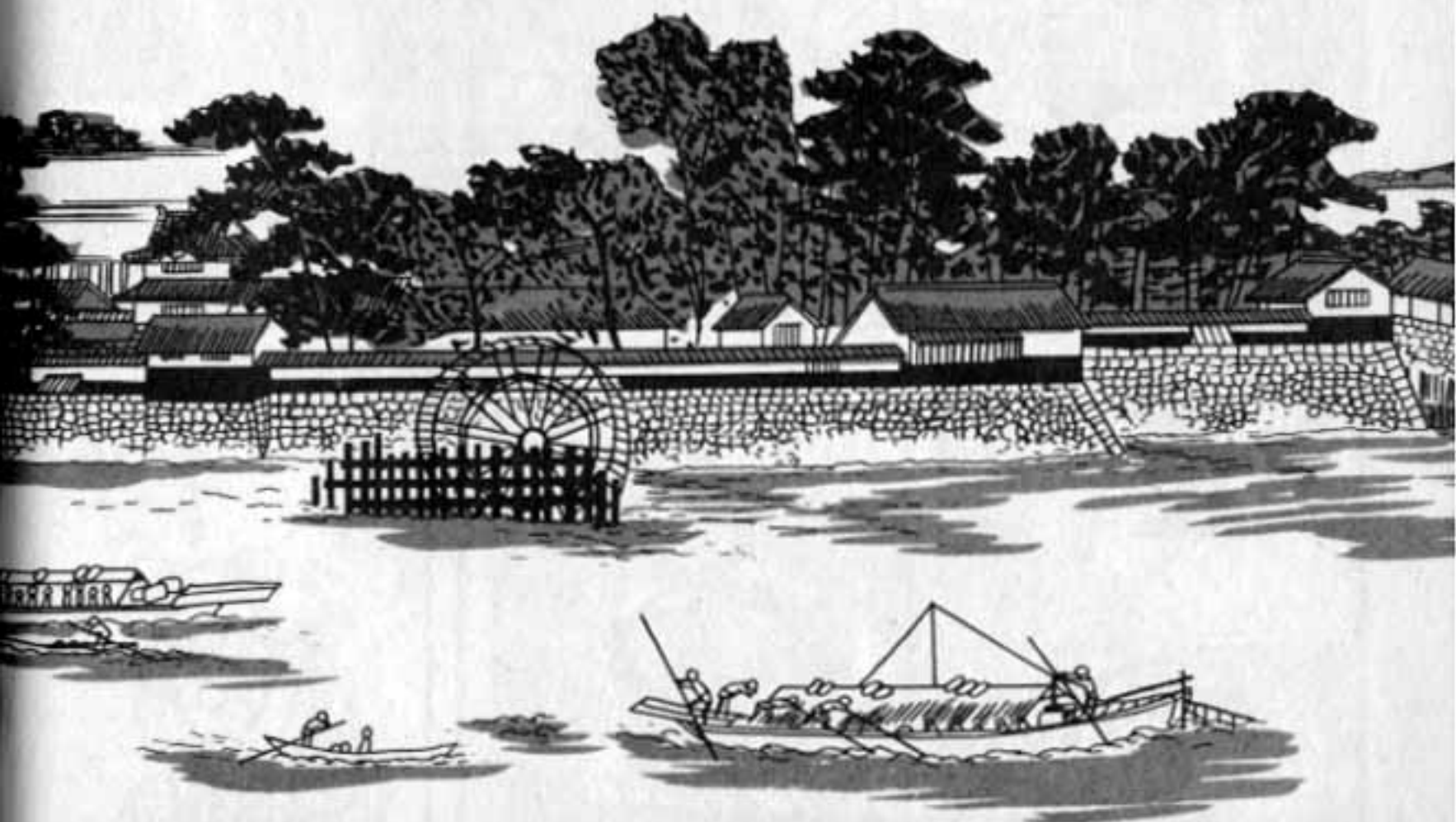
.....



すし  
食いねえ  
酒のみ  
ねえ

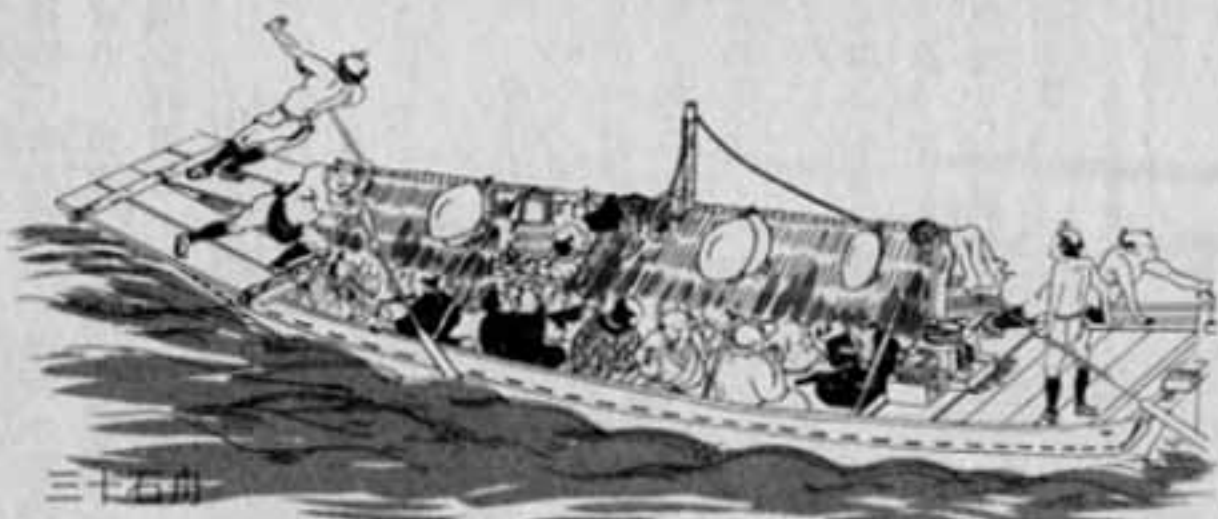






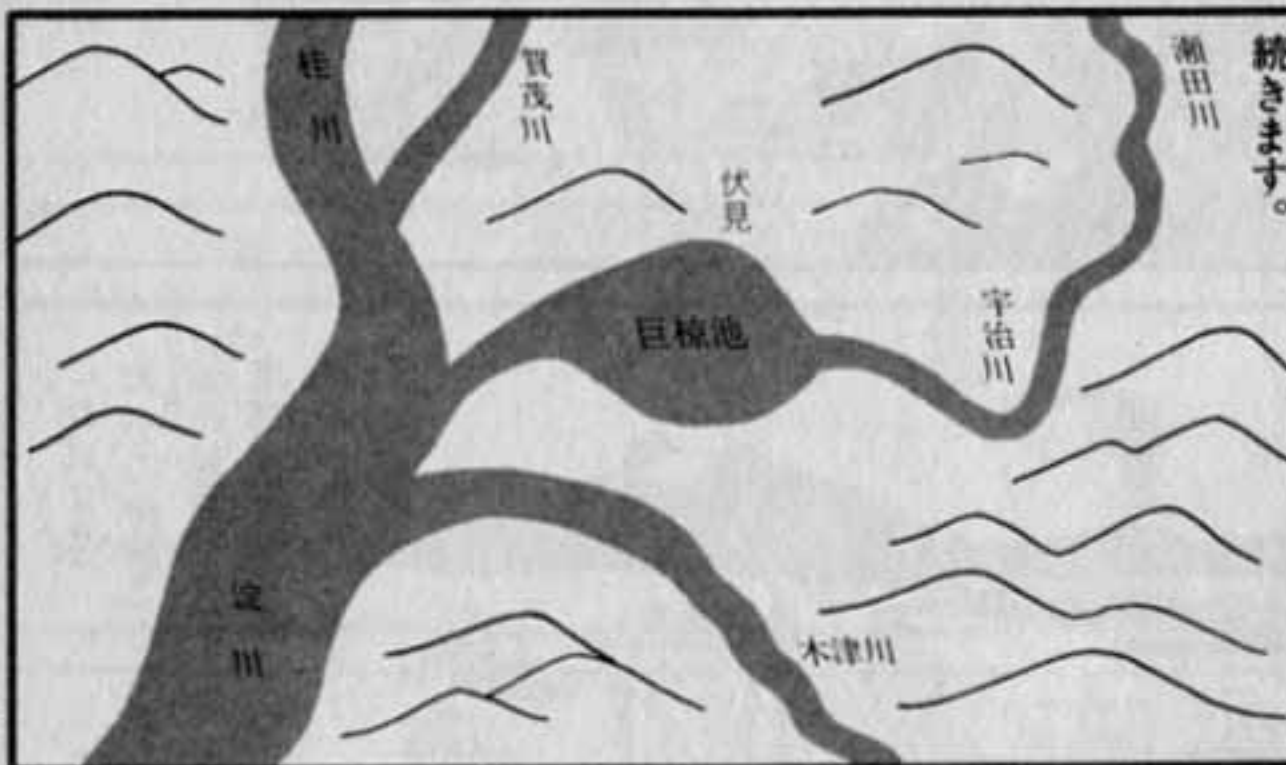


このような遊覧船が江戸時代の人々に親しまれていました。

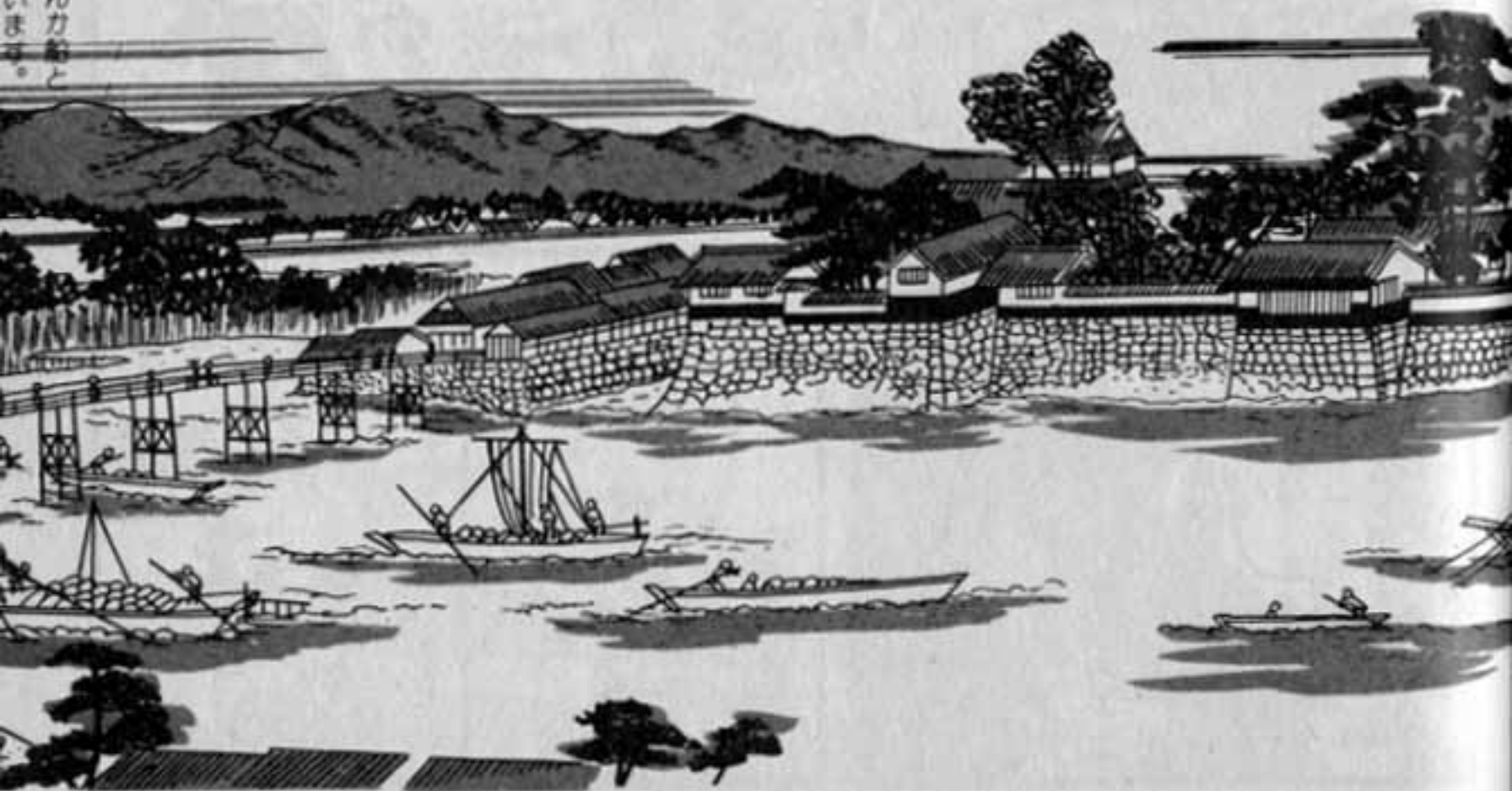


三石川

物資の大量輸送には水上交通がなんとと言っても一番です。伏見から宇治川を通り淀川に出、そして天下の台所大阪へと続きます。



くらわんか餅 桜方の名物。淀川を行き交う二十石船に過ぎ寄せ、飲物や食物を売った茶船を、くらわんか船と並びました。「飯くらわんか、餅くらわんか」などのかけ声で賑わったことか、その由来であるともいいます。

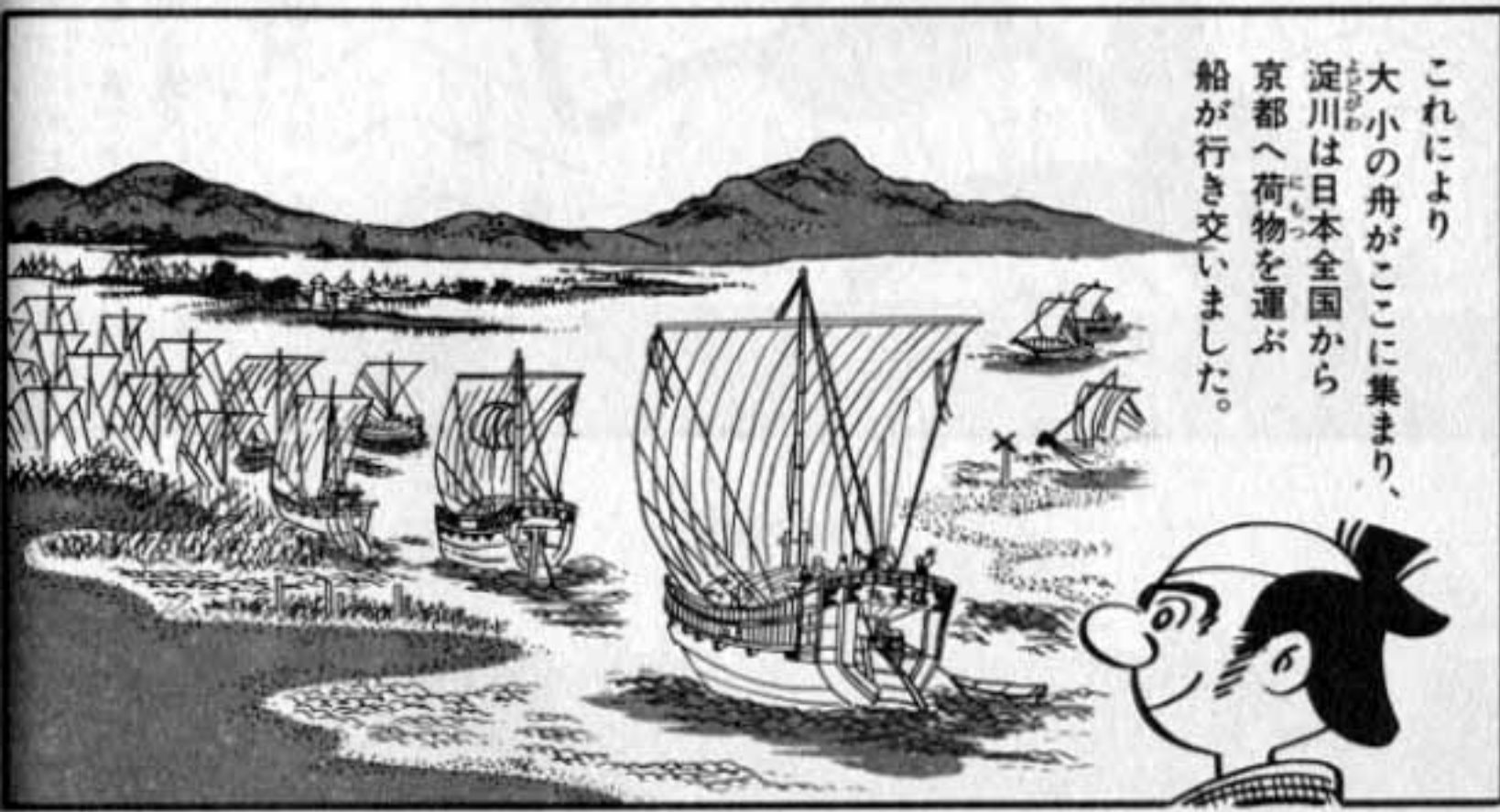


河村瑞賢(一六二八—一六九八) 一六八四年、大阪の九条島を開削して、新川(今の安治川)を築くなど、大阪の川の改修工事などに携わりました。

大阪の安治川は幕府の命を受けた河村瑞賢の計画により、貞享二年(一六八五年)に開かれたといわれています。



これにより、大小の舟がここに集まり、淀川は日本全国から京都へ荷物を運ぶ船が行き交いました。



なるほど大阪は賑わっているな



とすると京都と大阪をつなぐこの川は



お江戸の発展にもつながっているって訳だ

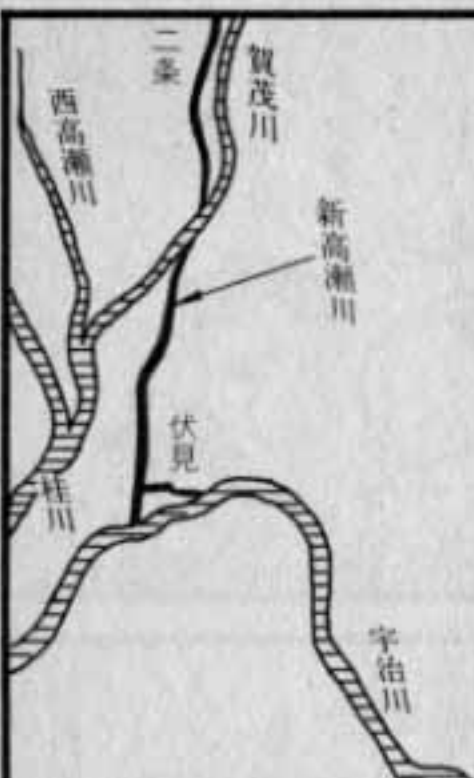




そういうことじゃ  
西の物資を  
集めるために  
いろいろと  
工夫がされたのじゃ



徳川幕府が  
角倉了以に命じて  
伏見から  
京都二条までを  
つなぐ  
高瀬川を  
造らせたのも  
その一つなのじゃ



角倉了以とは  
京都の人で  
海外貿易でも  
活躍した人じゃ



御朱印船  
って  
やつで  
しょう



角倉船とも  
いいますな



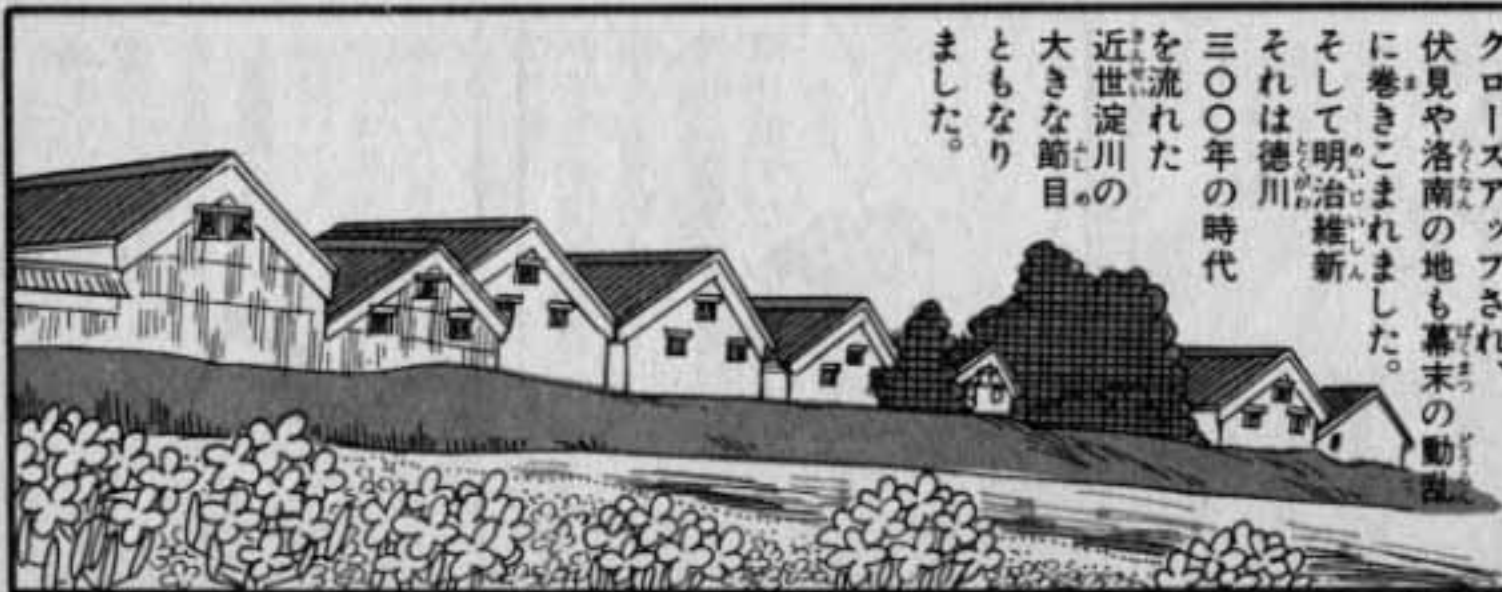
角倉船



伏見も  
国際港といえる  
かもしれないねえ



江戸時代も最末期になると、  
京都が再び政治都市として  
クローズアップされ、  
伏見や洛南の地も幕末の動乱  
に巻き込まれました。  
そして明治維新  
それは徳川  
三〇〇年の時代  
を流れた  
近世淀川の  
大きな節目  
ともなり  
ました。



高瀬川 角倉了以(一五五四-一六一四)によってつくられた運河。京都市中を流れる賀茂川を中京区橋之口町で分け、伏見の京橋で宇治川に合流。  
慶長十九年(一六一四)完成以来、江戸時代の京、大阪間の物資輸送路として大きな役割を果たしました。





川を中心に  
文化や  
産業・  
経済が  
発展したのね



江戸時代  
宇治川筋  
では他に  
どんな事が  
さかんだったの



他にねえー  
そうそう宇治  
のお茶はいよ  
いよ有名に  
なった



徳川幕府は  
宇治から  
お茶を  
とり  
よせて  
いたので  
江戸まで  
御茶壺道中が



大人数で  
東海道を  
行進し



お茶壺さまの  
お通りだー

何人と  
いえども  
路をあけ  
かぶりもの  
とつて  
札をする  
ことと  
定められ  
ていたとか……



茶壺を入  
れた籠を  
覆う布の  
紋所は、  
ご存知、  
徳川家の  
葵のご紋  
です。



お茶、とくに  
高級緑茶が  
好んで飲み  
はじめられるのも  
江戸時代  
からです。  
幕末期になると  
煎茶の流行も  
手伝って  
「宇治茶」が  
全国的な  
ブランドとして  
広まっていき  
ました。





川を中心に  
文化や  
産業・  
経済が  
発展したのね



江戸時代  
宇治川筋  
では他に  
どんな事が  
さかんだったの



他にねえー  
そうそう宇治  
のお茶はいよ  
いよ有名に  
なった



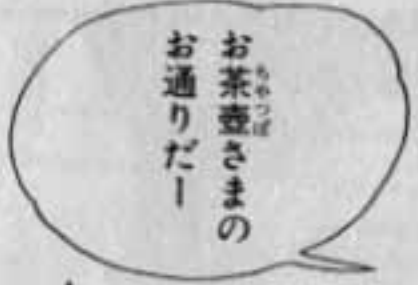
徳川幕府は  
宇治から  
お茶を  
とり  
寄せて  
いたので  
江戸まで  
御茶壺道中が



大人数で  
東海道を  
行進し



お茶壺さまの  
お通りだー



何人と  
いえども  
路をあけ  
かぶりもの  
とつて  
札をする  
ことと  
定められ  
ていたとか……



茶壺を入  
れた籠を  
覆う布の  
紋所は、  
ご存知、  
徳川家の  
葵のご紋  
です。



お茶、とくに  
高級緑茶が  
好んで飲み  
はじめられるのも  
江戸時代  
からです。  
幕末期になると  
煎茶の流行も  
手伝って  
「宇治茶」が  
全国的な  
ブランドとして  
広まっていき  
ました。

